

令和5年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、県市町村、企業、市民団体等との連携のもと、真に人権が尊重される社会づくりを推進するため、鳥取県人権施策基本方針に基づいて次の事業を行った。

事業名	1 人権啓発事業	決算額 (人件費を除く)	442,323 円 (昨年度:374,716 円)
	(1) 調査研究事業		
1 事業の目的・概要			
<p>人権や人権課題についての研究成果、さまざまな人権問題の現状、人権教育・啓発の手法や実践例等について情報を収集し、調査研究することにより、センターが行う事業全体の質と啓発効果を高める。</p> <p><鳥取県人権施策基本方針との対応></p> <p>第2章 人権教育・人権啓発の推進</p> <p>第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)</p> <p>第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)</p>			
2 事業内容、実施の状況			
①調査研究			
<p>○次のテーマで調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発者のバイアス ・暮らしの中の「同調圧力」 ・衣～アシタ、なに着る？ ・ビジネスと人権 ・何が差別にあたるのか？(間接差別と関連差別) ・パワーハラスメント ・人権尊重のコミュニケーション ・少年への性暴力 ・子どもに対する懲戒権 <p>○調査研究の成果を活かし、次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料等の開発(人権学習資料、人権学習教材) ・とっとり人権情報誌ふらっとへの啓発記事掲載 ・ホームページに小論文(エッセイ)を掲載 ・メールマガジンで「じんけん放話」を発信 ・県内各地の研修等への講師派遣(講演内容等に活用) 			
②効果的な人権啓発手法等の研究開発			
<p>外部研修に参加し、最新の啓発手法や新たに顕在化した人権課題等を学んで技術習得や情報収集を行い、各種事業に活かした。</p> <p>【延べ参加者数】3人</p> <p>【参加研修】※カッコ内は開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第119期部落解放・人権大学講座(9/13、9/21、11/18)オンライン聴講 ・部落解放研究第56回全国集会(11/14～15)和歌山市 ・第38回人権啓発研究集会(2/1～2)京都市 			
③効果的な事業展開・方向性等の協議			
<p>○県内外の有識者と意見・情報交換を行い事業の方向性や内容に活かすため、事業アドバイザー会議を開催した。</p> <p>【開催日】12月5日 ※オンラインで開催</p> <p>【内容】市町村人権啓発担当部署への聞き取り調査の概要(報告)</p> <p>各事業アドバイザーの近況及び専門領域の動向について(情報収集)</p> <p>今後注目し重点的に啓発すべきテーマ(協議)</p> <p>○センター各事業の評価と要望を調査するため、市町村の人権啓発担当部署に面談による聞き取りを行った。</p> <p>【実施日】6月27日～7月25日</p> <p>【調査内容】センター各事業の利用状況と評価、センターへの要望等</p>			

3 事業成果(改善状況)・課題等

【成果】

- * 調査研究や情報収集等の成果を様々な事業に活かし、発信できた。
- * 市町村への聞き取り調査により、多くの市町村がセンターの専門性や制作物等の質の高さ、相談や依頼への即応性を評価していることがわかった。
- * 各市町村に出かけて調査したことで、各地のセンター事業の活用状況を具体的に確認できた。また、各地の状況に合わせて活用方法を提案したところ、実際の利用につながった。

【課題】

- * センターのホームページを閲覧する市町村はかなり限られていることがわかった。市町村がホームページから最新の様々な情報を得て、更に事業を活用してもらえよう、次年度からの新ホームページ運用開始を機に重点的なPRを行う。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	1,579,634 円 (昨年度:654,995 円)
	(2) 研修事業		
1 事業の目的・概要			
<p>人権や人権問題について県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。</p> <p><鳥取県人権施策基本方針との対応></p> <p>第2章 人権教育・人権啓発の推進</p> <p>第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)</p> <p>第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)</p>			
2 事業内容・実施の状況			
①人権啓発者養成のための講座の開催			
<p>県内各地の求めに応じてセンター職員を派遣し、人権啓発者等を対象として専門的知識や啓発技術の向上を目的とした勉強会を開催した。</p> <p>【開催回数】 5回</p> <p>【利用団体】 ※カッコ内は開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県教育委員会人権教育課(7/28) ・鳥取市人権政策局人権推進課(7/24、11/27、2/26) ・琴浦町教育委員会人権・同和教育課(2/20) 			
②一般啓発のための各種人権研修への講師派遣			
<p>○県内各地の人権研修等に当センターの専任研究員を講師として派遣し、講演、ワークショップ、対話型(ふらっとカフェ)等の学習スタイルによる研修を提供した。</p> <p>【研修回数】 73 回…講演 62 回、ワークショップ4回、対話型5回、LHR 指導助言2回 (講演のうち2回は3ステップ研修※)</p> <p style="text-align: center;">※研修効果を高めるため、研修成果の評価と以後の対策協議を行う研修</p> <p>【研修テーマ】 バイアス、性的マイノリティの人権、部落問題、高齢者の人権、子どもの人権等</p> <p>【派遣依頼元】 行政・公民館、人権・同和教育推進協議会、人権センター、学校・PTA、企業等</p> <p>○ふらっとカフェを自主開催し、普及とファシリテーターの養成に努めた。</p> <p>【開催回数】 6回</p> <p>【開催テーマ】 結婚って幸せ？、差別とは何か？、制服は必要か？、世間が苦になるとき、 「若いっていいね」と言うけれど、みんなで作ろう！対立のトリセツ</p> <p>○啓発動画を2本制作し、県及び市町村、県教委人権教育課にDVDを配布したほか、センター公式ユーチューブチャンネルを開設し、配信を行った。</p>			

【動画タイトル(時間)】

- ・大人のための10の心得～子どもの思いを引き出し受けとめるために～(3分37秒)
- ・バイアス、ミナオス?(8分58秒)

③広く県民を対象とした研修の開催

「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の2つの分散会において人権啓発講座を開催した。

【開催日】8月18日

【会場】米子コンベンションセンター

講座1(第4分科会第1分散会):小ホール

講座2(第4分科会第2分散会):第7会議室

【テーマと学習構成(参加人数)】

講座1:職場のパワーハラスメントをなくすために

ゲスト2名とセンター研究員によるミニ講演、鼎談、質疑応答(162人)

講座2:バイアス、ミナオス?～私、あなた、社会の「当たり前」を見直す

講義、グループワーク(63人)

3 事業成果(改善状況)・課題等

【成果】

*人権啓発者養成のための講座

参加者の研修評価(5段階):4.50

*一般啓発のための各種人権研修への講師派遣

各地の求めに応じて多様なテーマの研修を開催することができた。

参加者の研修評価(5段階):4.48

*人権啓発講座

参加者評価(4段階):「大変よかった」・「よかった」が85.3%

【課題】

*ワークショップ形式の人権啓発講座に定員を設けたが人数調整が難しく、定員を増やして対応したものの、多くの人参加を断った。ワークショップに対する参加者評価は高かったが、次年度は定員を設けずにできる方法で実施する。

*一般啓発研修については日程が合わない・準備期間を確保できない等の理由により、22件の依頼をお断りした。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	244,173円(昨年度:544,379円)
	(3)啓発・情報提供事業		

1 事業の目的・概要

人権や人権問題について県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。

<鳥取県人権施策基本方針との対応>

第2章 人権教育・人権啓発の推進

第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)

第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)

2 事業内容・実施の状況

①機関紙の配付(年2回)

「とっとり人権情報誌ふらっと」を増刷して会員等に配付し、当センターの事業紹介や啓発情報の提供等を行った。

【増刷数】各1,100部(10月:第39号、2月:第40号)

【配付先】センター役員、団体正会員、団体・個人賛助会員、県内外関係機関等

②人権啓発パネルの貸出・展示

令和元年度まで作成した既成パネルを県内各地に無償で貸し出す他、鳥取県立人権ひろば 21「ふらっと」の交流スペース等で展示した。

(米子市人権情報センターのご協力で米子市からも貸出)

【貸出数】 46 組(ふらっと展示 1 組を含む)

【貸出先数】 31 団体(人権教育推進協議会等、公民館、人権センター、学校等)

③インターネットを活用した各種情報の発信

ホームページとフェイスブック、メールマガジンにより、各種の啓発情報を提供した。

○ホームページ

【投稿記事数】 54 本

【記事内容】 各種制作物の紹介、メールマガジン配信のお知らせ、講師派遣案内・受付締切のお知らせ、人権啓発講座開催案内、ふらっと交流スペース展示案内等

○フェイスブック

【投稿記事数】 32 本

【記事内容】 ふらっと交流スペース展示案内、ミニ学習会開催案内、映画上映会開催案内等

○メールマガジン

【配信回数】 通常配信 12 回(毎月第4水曜日)、臨時配信3回(イベント案内等)

【記事内容】 じんけん放話(時事等に関わる啓発記事)、ふらっと便り(新着貸出資料・イベント情報)、つれづれ日記(人権を視点とした短い随筆)

※新ホームページの令和6年度運用開始に伴い、令和 5 年度末で配信を終了した。

④視覚障がいに対応した啓発資料の作成

前年度発行した人権学習資料の点字版・音声版を作成し、図書館等に配付した。

【作成資料】 「子どもの意見を大切に作る大人のための 10 の心得」(令和4年度制作)の点字版及び音声版2種(デジター、カセットテープ)・各5部

【配付時期】 7月

【配付先】 点字図書館、鳥取市立中央図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館、鳥取県立人権ひろば 21「ふらっと」人権ライブラリー

3 事業成果(改善状況)・課題等

【成果】

*ホームページの利用状況

閲覧者数: 約 2.1 万人

ページ閲覧数: 60,442 ページ

【課題】

* 配付先の各図書館に配付した点字版・音声版の貸出実績がない。貸出につながるかは別として、視覚障がいのある県民に向けて、資料の存在を周知する努力が必要である。

事業名	1 人権啓発事業 (4) ネットワーク事業	決算額	2,900 円 (昨年度:8,845 円)
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>人権啓発関連団体等と協働・協力し、支援を行うことで、それら団体等の取組にセンターが持つ知見や情報等を活かす。</p> <p><鳥取県人権施策基本方針との対応></p> <p>第2章 人権教育・人権啓発の推進</p> <p>第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)</p> <p>第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)</p>			
<p>2 事業内容・実施の状況</p> <p>①人権啓発関係団体との協働</p> <p>○「第48回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(事務局:鳥取県人権教育推進協議会)の各委員会等に参加し、集会開催に尽力した。</p> <p>【集会の開催】8月18日 米子コンベンションセンター他</p> <p>【各種委員会】※カッコ内は開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会(5/11、6/19) ・企画運営委員会(4/28、6/8、11/10) ・基調提案作成委員会(5/22、6/6、6/23) ・総括会議(9/21) <p>○「鳥取県人権啓発活動ネットワーク協議会」(事務局:鳥取地方法務局人権擁護課)に参加し、イベント会場でパネル展示や啓発グッズ及び資料配布等を行った。</p> <p>【協議会の開催日】4月20日、8月30日、2月22日</p> <p>【イベント】「みんなの人権フェスティバル in 鳥取 2023」12月9日 米子コンベンションセンター</p> <p>○「ネットモニタリング・ネットワーク」(事務局:鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局)と協働してネットモニタリングを行った。</p> <p>【モニタリング】37時間10分</p> <p>【削除要請・実績】なし</p> <p>○「県民企画による人権啓発活動事業」(事務局:鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局)の選考委員会(7月)において委員を務めた。</p> <p>②啓発関連イベントへの協力</p> <p>「女性に対する暴力をなくす運動」(事務局:鳥取県福祉相談センター)に協力し、11月14日の街頭キャンペーンでDV防止啓発用ポケットティッシュを配布した。</p> <p>③県市町村、公民館、学校(PTA)、企業等が実施する人権研修の支援</p> <p>○県内各地で開催される人権研修等について、様々な情報提供や助言を行った。</p> <p>【対応件数】19件</p> <p>【相談者】行政担当課職員、人権教育推進員、人同推協、PTA人推部</p> <p>【対応内容】研修講師・啓発資料等の情報提供、研修進行方法の助言、人権や関連用語の解説</p> <p>○センター制作物の二次的利用等に関する依頼への対応</p> <p>県内外からの依頼に対応し、各地の啓発関連事業にセンター制作物を役立てた。</p> <p>【対応件数】7件</p> <p>【対象制作物】啓発パネル、人権学習資料、人権学習教材、研修用配付資料、調査研究エッセイ</p> <p>【依頼者】教育委員会事務局、学校、大学、企業</p>			
<p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>【成果】</p> <p>*県内各地からの協力要請や相談に対して、センターの専門知識を踏まえ、概ね期待に添った対応ができた。</p>			

事業名	1 人権啓発事業	決算額 (人件費を除く)	186,213 円 (昨年度:162,188 円)
	(5)人権相談事業		
1 事業の目的・概要 人権に関する悩み・問題を相談者と一緒に考え、解決していく。 複雑・高度な専門性を要する事案等は、専門機関・地元機関と連携して支援する。 <鳥取県人権施策基本方針との対応> 第4章 相談支援体制の充実(相談機能の充実)			
2 事業内容・実施の状況 ○毎週水・土・日曜日に人権相談員1名が面談、電話、メール等で対応した。 【相談件数】 197 件(面接 28 件、電話 169 件、メール0件) 【相談内容】 人権相談2件(嫌がらせ、その他) 一般生活相談 195 件(病気、財産、結婚、家族等に関する事) ○相談窓口をPR するため、日本海新聞、朝日新聞、とっとり県政だよりに広告を掲載した。 【掲載回数】 4回			
3 事業成果(改善状況)・課題等 【成果】 *解決が難しい心の問題などに対応し、日々の拠り所としての機能を果たした。 【課題】 *利用者が固定化しがちであり、相談窓口の更なるPR が必要である。			

事業名	1 人権啓発事業	決算額 (人件費を除く)	1,315,312 円 (昨年度:1,141,719 円)
	(6)鳥取県部落解放研究所継続事業		
1 事業の目的・概要 人権や人権問題についての県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。 <鳥取県人権施策基本方針との対応> 第2章 人権教育・人権啓発の推進 第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)			
2 事業内容・実施の状況 ①効果的な人権啓発手法等の研究開発 ----- 人権啓発に係わる各種の全国集会・研究会等に参加し、全国の最新の啓発状況とさまざまな人権課題等の現状について情報収集した。 【延べ参加者数】 14 人 【参加研修】 ※カッコ内は開催日又は録画視聴期間 ・第 48 回部落解放・人権西日本夏期講座(6/20～21)松山市 ・第 54 回部落解放・人権夏期講座(9/1～29)録画視聴 ・第 44 回人権・同和問題企業啓発講座<第1部>(10/2～31)録画視聴 ・同上<第2部>(11/1～30)録画視聴 ----- ②各種啓発資料等の作成・配付 ----- ○人権学習資料を作成し、配付した。 【資料名】 職場のハラスメントと人権 【仕様・部数】 B3判(縦長) フルカラー 3種類×700 部 A4判(縦長) フルカラー 3種類×1,000 部 【配付時期】 3月			

【配付先】 B3判: 県及び市町村、団体正会員、団体賛助会員、人権センター、人権啓発・問題企業連絡会、鳥取地方法務局等

A4判: 個人賛助会員

○人権学習教材を作成し、配付した。

【資料名】 コムニカチオ～点検！人権尊重のコミュニケーション～

【仕様・部数】 A4判(縦長) フルカラー 24頁 2,500部

【配付時期】 3月

【配付先】 県及び市町村、団体正会員、人権センター、鳥取地方法務局・人権擁護委員、公民館、人権啓発・問題企業連絡会等

3 事業成果(改善状況)・課題等

【成果】

* 人権学習教材「コムニカチオ」について、研修に使用したい等の理由で学校や企業、公民館から追加配付やデータ配付の要望があり、対応した。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	1,954,264 円 (昨年度:1,615,720 円)
	(7) 受託事業		
1 事業の目的・概要	「とっとり人権情報誌ふらっと」の作成・発送事業を鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局より受託し、センターの知見や情報を活かした情報発信を行う。 <鳥取県人権施策基本方針との対応> 第2章 人権教育・人権啓発の推進 第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)		
2 事業内容・実施の状況	「とっとり人権情報誌ふらっと」を年2回作成し、発送した。 【発行・配付時期】 10月(39号)、2月(40号) 【仕様・部数】 A4判(縦長) フルカラー 8頁 14,500部 【配付先】 企業(約13,000社)、県及び市町村、各種学校、県内関係機関、団体正会員、団体・個人賛助会員等		
3 事業成果(改善状況)・課題等	【成果】 * 39号の特集記事「部落差別がある社会を変えるために」が大山町内で全戸配付されたり、記事を読んだ鳥取市内の地区人推協の要望で、関連資料をデータ提供するなど、県内の啓発事業に幅広く利用された。		

事業名	2 鳥取県立人権ひろば 21 「ふらっと」管理運営事業	決算額 (人件費を除く)	6,300,896 円 (昨年度:5,700,408 円)
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>人権を尊重する心や態度が広く普及するよう県民が生涯を通じて主体的に人権について学習し、人権に対する理解を深めるための機会を提供し、人権意識の啓発に資する。</p> <p><鳥取県人権施策基本方針との対応></p> <p>第8章 人権施策の推進体制(鳥取県人権文化センター等との連携・協働)</p>			
<p>2 事業内容・実施の状況</p>			
<p>①人権ライブラリーの管理・運営</p> <p>指定管理者として管理運営を受託(2019～2023 年度)し、次の事業を行った。</p> <p>【入館者数】 4,448 人</p> <p>○人権ライブラリーの管理・運営</p> <p>【貸出資料数】 4,494 点(図書 3,835 冊、DVD659 本)</p> <p>うち宅配サービス又は図書館経由によるもの:1,468 点(図書 1,240 冊、DVD228 本)</p> <p>【新規購入数】 142 点(図書 123 冊、DVD19 本)</p>			
<p>②交流スペースの管理・運営</p> <p>○啓発パネル等を展示した。</p> <p>【実施回数】 16 回</p> <p>【協力団体】 困り感を抱える子を支援する親の会/らっきょうの花、鳥取県立鳥取聾学校、アートスペースからふる、鳥取県立琴の浦高等特別支援学校、認定 NPO 法人十人十色、鳥取県 JICA デスク、性暴力被害者支援センターとっとり/クローバーとっとり、社会福祉法人もみの木福祉会、鳥取県ユニセフ協会、鳥取県立白兔養護学校、鳥取県人権尊重社会推進局/人権・同和対策課、鳥取アディクション連絡会</p> <p>○ミニ学習会を人権関連団体と協力して実施した。</p> <p>【実施回数】 3回 【延べ参加者数】 73 人</p> <p>【内容と協力団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族の文化を学ぼう - 歌と楽器と物語 - (ペカンペ～鳥取アイヌを学ぶ会～) ・自己肯定感ほ心の土台 (どんぐりの森) ・鳥取の子育て～みんなで喋ろう！シン・子育て王国ととりに一言！ <p style="text-align: right;">(未来のパパママ鳥取塾実行委員会)</p> <p>○次の小イベントを開催した。</p> <p>*自主イベント</p> <p>【内容】 絵本を届ける運動</p> <p>…講演/DVD 視聴(学校に通えないアジアの子ども達の現状)、翻訳絵本の作成ワークショップ(講師:吉田圭助さん/(公社)シャンティ国際ボランティア会)</p> <p>【延べ参加者数】 100 人</p> <p>*映画上映会</p> <p>【内容】 映画「不安の正体」</p> <p>…精神障害者グループホームの入居者の生活記録とインタビュー</p> <p>【参加者数】 25 人</p> <p>○交流スペースを民間団体等に無償で貸し出し、人権に関する勉強会や打合せ等に活用された。</p> <p>【利用回数】 35 回 【利用者数】 203 人</p> <p>【利用団体】 困り感を抱える子を支援する親の会/らっきょうの花、コトモニ、どんぐりの森、食物アレルギーっこの親の会しろうさぎ、もりたね会、和歌山市木ノ本文化会館(視察)、個人(手話学習会開催)</p>			

③その他施設の管理運営

- インターネット等による情報提供を行った。
 - * ホームページによる情報提供
 - 【更新回数】 53 回
 - 【更新内容】 新着図書・DVD、おすすめ資料案内、ふらっと交流スペース展示、イベント案内等
 - * 公式LINEによる情報提供
 - 【登録者数】 64 名 (3/31 現在) 【更新回数】 41 回
 - 【更新内容】 新着図書・DVD、ふらっと交流スペース展示、イベント案内等
- ふらっとのPRグッズを作成し、県内関係機関等に配布した。
- ふらっと紹介タペストリー型パネル(2枚)バナースタンド(1枚)を作成し、県内図書館、高等学校で展示を行った。(6団体)
- 人権学習用DVDチラシ(学校向け/地域向け)を作成し、各種学校等にメール配信するなど周知を行った。
- 人権研修DVDチラシ(企業向け)を作成し、県内の商工会や商工会議所会員へ配布を行った。
- 人権情報誌ふらっとでPRを行った(年2回)。
- イベント周知のため、高校や大学を訪問した(東部私立高校、鳥大、環境大、鳥取短大)。

3 事業成果(改善状況)・課題等

【成果】

- * 県内図書館や高等学校図書館で「ふらっと紹介パネル展」を開催し、展示を見た県民の来館につながった。
- * 企業向けチラシを県内企業に配布したところ、研修用DVDの貸出数が増えた。
- * 入居施設(ふれあい会館)内にふらっとへの案内掲示を増やした結果、施設利用者が増えた。

【課題】

- * 交流スペースを利用する団体が固定化しつつあるので、誰でも利用できるよう広く利用を呼びかける。
- * 公式LINEの登録者が伸び悩んでいるため、ホームページ等でPRして新たな登録を促す。

事業名	3 鳥取県立人権ひろば 21 基金事業	決算額	2,156,750 円 (昨年度:0円)
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県立人権ひろば 21 基金を、センターが取り組む調査研究事業、研修事業、啓発・情報提供事業に要する経費の全部又は一部に充当することにより、もって人権意識の向上に資する。</p> <p><鳥取県人権施策基本方針との対応></p> <p>第2章 人権教育・人権啓発の推進</p> <p>第8章 人権施策の推進体制(鳥取県人権文化センター等との連携・協働)</p>			
<p>2 事業内容・実施の状況</p> <p>センター及び鳥取県立人権ひろば 21 の共有のホームページを新たに制作した。</p> <p>【追加した機能等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UD機能: 文字サイズ切替、背景色切替、多言語表示 ・ふらっとイベントカレンダー(年間・月別・週別)、交流スペース利用状況カレンダー、予約機能等 			
<p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 情報のUD化を進め、新たな機能を追加するなど、利用者の利便性を高めることができた。 			

事業名	4 理事会・総会の開催	決算額	153,872 円（昨年度:196,258 円）
<p>1 事業の目的・概要 業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催する。</p>			
<p>2 事業内容・実施の状況</p>			
<p>①理事会の開催</p> <hr/> <p>○第1回通常理事会 【開催日】 5月10日 【会場】 鳥取県立生涯学習センター 4階大研修室 【議事】 (1) 令和3年度決算書類の修正について (2) 令和4年度事業報告について (3) 令和4年度決算について (4) 令和5年度補正予算(案)について (5) 役員を選任(案)について (6) 鳥取県立人権ひろば21基金の使用について (7) 令和5年度定時総会の招集(案)について 【報告】 (1) 鳥取県人権機構の設立について</p> <p>○第1回臨時理事会 【開催日】 8月8日(書面開催) 【議事】 (1) 臨時総会の招集の決定の件</p> <p>○第2回臨時理事会 【開催日】 10月2日 【会場】 鳥取県立生涯学習センター 4階大研修室 【議事】 (1) 令和6年度事業計画(要望案)について (2) 令和6年度当初予算(要望案)について 【報告】 (1) 会長、副会長、常務理事の職務執行状況について (2) 令和5年度前期事業報告について 【協議】 (1) 理事について(令和5年度定時総会でのご意見に関する事項)</p> <p>○第2回通常理事会 【開催日】 3月18日 【会場】 鳥取県立生涯学習センター 4階大研修室 【議事】 (1) 令和6年度事業計画(案)について (2) 令和6年度当初予算(案)について (3) 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて (4) 令和5年度補正予算(案)について 【報告】 (1) 会長、副会長、常務理事の職務執行状況について (2) 令和6年度市町村支出金承認額通知について (3) 鳥取県立人権ひろば21指定管理者の指定について</p> <hr/> <p>②総会の開催</p> <p>○定時総会 【開催日】 5月29日 【会場】 鳥取県立生涯学習センター 5階講義室 【議事】 (1) 令和3年度決算書類の修正について (2) 令和4年度事業報告について (3) 令和4年度決算について</p>			

(4) 役員の選任(案)について

(5) 鳥取県立人権ひろば 21 基金の使用について

【報告】(1) 鳥取県人権機構の設立について

○第1回臨時総会

【開催日】9月1日(書面開催)

【議事】(1) 監事の選任の件

〈事務局組織〉

(令和6年5月現在)

・常務理事(兼事務局長)	1名(常勤)
・次長兼上席専任研究員	1名(常勤)
・専任研究員	3名(専任職員3名 常勤)
・係長	2名(常勤)
・人権相談員	2名(非常勤 水・土・日曜日のローテーション勤務)
・ライブラリー相談員	3名(非常勤 年末年始・祝日以外のローテーション勤務)
.....	
計	12名(常勤7、非常勤5)

〈参考〉指定管理施設である「鳥取県立人権ひろば 21」(ふらっと)の職員組織

・館長	1名(常勤 人権文化センター事務局長が兼務)
・次長	1名(常勤 人権文化センター次長が兼務)
・係長	1名(常勤 人権文化センター係長(うち1名)が兼務)
・ライブラリー相談員	3名(非常勤)
.....	
計	6名(常勤(兼務)3名、非常勤3名)